



垂直統合型 仮想化・クラウド基盤「FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for VMware vSphere」(以下、PRIMEFLEX for VMware vSphere) を販売開始します。
(旧製品:「PRIMEFLEX for Cloud CRB200/500 V1.1」)

【ここがポイント】

- ①最新サーバPRIMERGY RX2530 M4 を採用。
- ②ストレージは、ハイブリッド「ETERNUS DX100 S4 / DX200 S4」の採用に加え、オールフラッシュ「ETERNUS AF250 S2 / AF650 S2」も採用。

富士通の垂直統合製品 FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX

仮想化・クラウド基盤(CI※) **New** PRIMEFLEX for VMware vSphere

仮想化基盤・プライベートクラウド基盤の設計、構築、運用に必要な要素を含んだ垂直統合型プラットフォームです。高品質なインフラ基盤の短期導入を実現するとともに、ICTライフサイクル全般にわたる運用の品質向上と負荷軽減を促し、お客様のビジネスの変革・成長に貢献します。

運用管理ソフトウェア

仮想化ソフトウェア

ネットワーク

ストレージ

サーバ



※CI: Converged Infrastructure

仮想化基盤(HCI※)

PRIMEFLEX for VMware vSAN

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct

ICT基盤の短期導入や安定稼働に加え、富士通のノウハウを組み込むことにより運用・増設・管理の簡略化を実現するハイパーコンバージドインフラストラクチャです。簡単、迅速、柔軟なICT基盤として、従来のインフラ運用における課題を解決します。

導入がかんたん

運用がかんたん

スケールアウトがかんたん



vSphere

Hyper-V

※HCI: Hyper Converged Infrastructure

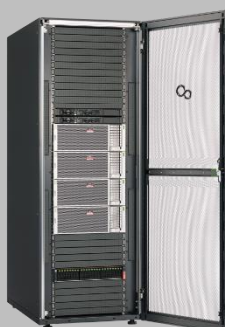
高速Oracle Database基盤 PRIMEFLEX for Oracle Database

富士通のテクノロジーとノウハウでOracle Databaseを高速化し、圧倒的な高速性を実現する垂直統合型データベースシステムです。「Oracle Databaseシステムを高速化したい」、「Oracle Databaseを統合したい」、「構築期間を短縮したい」というお客様の課題を解決します。

超高速

低コスト

安心
安全



超高速インメモリデータベース基盤 PRIMEFLEX for SAP HANA

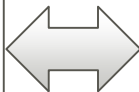
SAP社のインメモリテクノロジーを最適化し、超高速アプリケーションプラットフォームを実現するSAP HANA専用垂直統合基盤です。膨大なデータのリアルタイム分析、ビッグデータ利活用、リアルタイムOLTPなどを安全かつ確実に実現することにより、お客様の経営判断の高速化・ビジネス成長の最大化をもたらします。



CI「PRIMEFLEX for VMware vSphere」

以下のニーズがある場合

- 高機能
(ストレージ装置内でのオンラインバックアップなど)
- ストレージ容量のみ追加
(ストレージ装置の増設でストレージ容量のみを追加できます)



HCI「PRIMEFLEX for VMware vSAN
PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct」

以下のニーズがある場合

- 運用の簡易性
(構築・増設がかんたん)
- 低コスト
(機器が少なくコストが安い)
- ストレージ管理スキルがない

PRIMEFLEX for VMware vSphere エンハンス

New

1.最新サーバPRIMERGY RX2530 M4 を採用

CPU	最適なCPUを選択可能 インテル Xeon プロセッサ スケーラブルファミリー×2	
MEMORY	メモリ増設単位の細分化 48GB ~ 3072GB	
DISK	1本単位から選択搭載可能 ~約4055TB	
RAID	対応レベルを選択 RAID 0+1、RAID 5、RAID 6 など	

サーバ

スペック

異なった
サーバスペックの
共存が可能
6~60台



PRIMERGY RX2530 M4

2.ストレージは、ハイブリッド「ETERNUS DX100 S4 / DX200 S4」の採用に加え、オールフラッシュ「ETERNUS AF250 S2 / AF650 S2」も採用。

DX100 S4	エントリークラス 優れた運用性や拡張性
DX200 S4	エントリークラス 最高性能 高速処理が必要とされる様々な業務に最適なストレージ
AF250	フラッシュ活用の切り札 最高クラスの性能、効率、運用性、安定性
AF650	大容量オールフラッシュアレイ 高負荷な環境においても極めて低いレイテンシを実現



高性能ストレージ
4機種から
選択可能

ラインナップ

ストレージ

ETERNUS series



仮想化環境専用ストレージ「ETERNUS TR series」において、もっとも小規模なオールフラッシュアレイとして ETERNUS TR1000 を販売開始します。

論理容量が約2TB・実効容量が約10TB程度と小さく、ETERNUS TR series のなかでは現在販売中 "TR6000" のさらに下位に位置づけられるモデルであり主に中小企業やリモートオフィス等での使用を想定しております。

【ここがポイント】

- ① 従来モデルの半額以下
- ② ETERNUS TR seriesの機能がすべて利用可（自動QoS、VM関連情報の見える化、簡単導入 など）
- ③ オールフラッシュ化による全領域のアクセス性能向上

ラインナップ



632万4,000円～
(税別・最小構成時)

New



1,566万3,000円～
(税別・最小構成時)

項目	新商品	既存 TR6000 series			
	TR1000	TR6030	TR6050	TR6070	TR6090
実効容量	10TB	19TB, 38TB, 40TB, 80TB	38TB, 76TB, 153TB, 322TB	38TB, 76TB, 153TB, 322TB	77TB, 153TB, 307TB, 645TB
最大 VM数	100	500	2,500	5,000	7,500
最大 VDISK数	300	1,500	7,500	15,000	22,500
最大 IOPS性能 (8KB R.Read)	50,000	75,000	120,000	200,000	320,000
サイズ	2U				

特長

従来モデルの半額以下

ETERNUS TR seriesの特長である「安定した性能」「見える化」「簡単導入」は継承しつつ、従来モデルの半額以下を実現しています。（当社比）

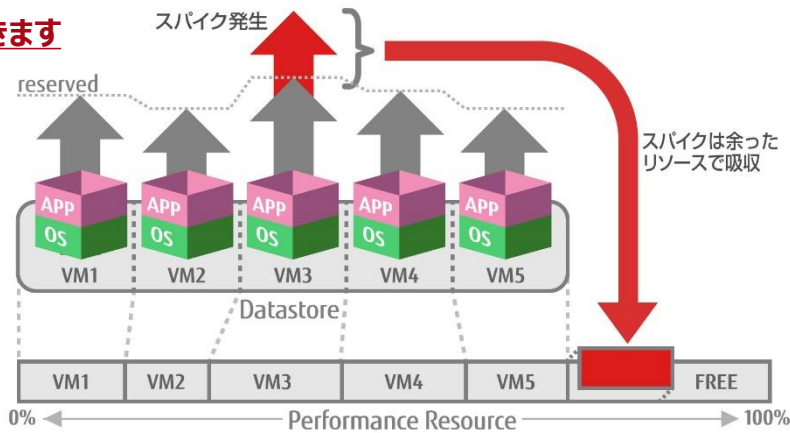
ETERNUS TR series の特長



ETENUS TR seriesの機能がすべて利用できます

■「安定した性能」

自動QoS：VM単位にパフォーマンスを10分ごとに割り当て見直し。
特定VMで突発的なIO負荷（スパイク）が発生しても、他VMは安定稼働が可能。



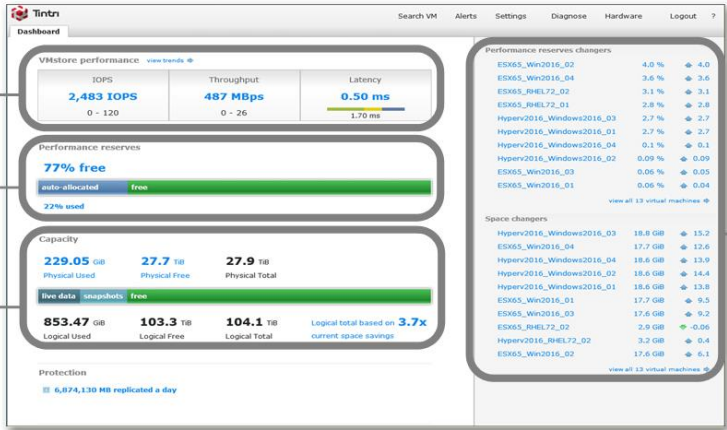
■「見える化」

VM単位で運用管理者が知りたい情報を見る化することにより、仮想化環境における運用効率を劇的に改善し、運用管理コストを削減できます。

アクセス状況

性能の使用状況

容量の使用状況



性能・容量の増減情報

■「簡単導入」

複雑なストレージ設計やチューニングは不要。ストレージ設計の負荷を大幅に軽減し、拡張性の高いストレージを提供します。

簡単セットアップ

- ・汎用ストレージのようなRAID／LUN設計が一切不要。仮想化専用ストレージとしてオールインワン構成で出荷
 - ・設定時間は約10分。IPアドレス、日時、管理者パスワード等を設定するのみ
- VMのクローニングが短時間（CloneVM機能）
- ・大量のクローンを一度に作成が可能（最大 500 VM）
 - ・VAAI※-NFS による高速クローン作成

従来のストレージ



ETERNUS TR series



設計不要。
構築展開ともに大幅に工数を削減。



オールフラッシュ化による全領域のアクセス性能向上

- ・すべてのデータをSSD上に配置
- ・大容量シーケンシャルアクセスを含む、すべてのアクセス方法において高速
- ・重複排除とデータ圧縮により容量効率を向上

富士通の付加価値

- ・富士通独自の日本語ドキュメントにより適切な情報やサービスを提供
- ・富士通独自の評価・テストにより高い品質を提供
- ・国内最大規模のサポート体制でお客様システムの安定稼働を実現
- ・製品を熟知した富士通の技術者により迅速にトラブル対応

装置仕様

品名	TR1000	
最大VM数(*1)	100	
I/O性能(*2)（仮）	36,000	
論理容量(*3)	10TB	
搭載形態／サイズ	ラックマウント／2U ベゼル無	
コントローラー構成	デュアルコントローラー (Active/Standby)	
I/F(*4)	データ	10GbE SFP+ x2 or 10GBASE-T x2 (repli port兼用)
	管理	1GBASE-T on boardx2
	Replication	10GBASE-T x2 on board
SSDドライブ	240GB x13	
標準ソフトウェア	Global Center Standardライセンス レプリケーションライセンス ディスク暗号化ライセンス	
オプション	SyncVMライセンス Global Center Advancedライセンス Cloud Connector(予定)	

*1：最大VM数は実効容量や処理能力に制限されます。

*2：8KB Read:Write=7:3のランダムアクセス時の性能です。
性能は測定環境により異なります。

*3：圧縮・重複排除により5倍のデータ削減効果を想定した値です。

*4：コントローラーあたりのポート数。



「VoIPゲートウェイ装置* FUJITSU Network Si-V735D/Si-V704SE」の主要部品終息に伴い、後継機種として「FUJITSU Network Si-V735D/Si-V704D」を新規提供いたします。既存PBXを「Si-V735D/Si-V704D」に接続することでIPネットワークに音声内線網を統合し、既設設備の条件を変更することなく、低コストでかつ容易にIPネットワークへの移行が実現可能です。

【ここがポイント】

- ①優れた運用性
- ②クラウドサービスの利用

* VoIPゲートウェイ装置：VoIPゲートウェイ「FUJITSU Network Si-Vシリーズ」は、IPネットワークに音声を統合。全社的なトルダイヤルの構築が可能になると共に、WAN回線統合による回線コストの削減を実現します。

内容・特長

FUJITSU Network Si-Vシリーズは、既存PBXと接続することでIPネットワークに音声内線網を統合し、既設設備の条件を変更することなく、低コストでかつ容易にIPネットワークへの移行が実現可能なSIPに準拠したゲートウェイ装置です。

■ 特長

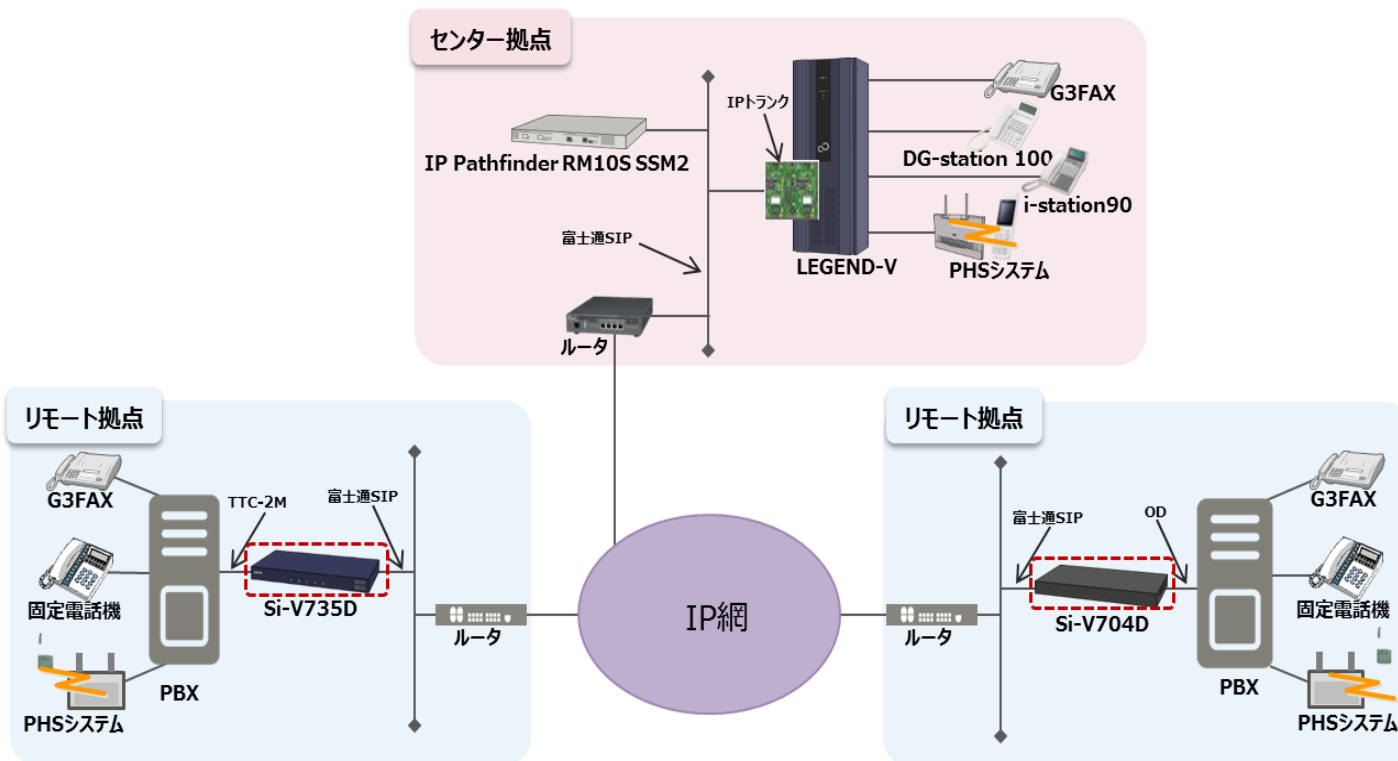
1. 優れた運用性

「Si-V735D/Si-V704D」を利用して大規模VoIPネットワークにPBXを接続することにより、電話番号の一元管理や局番単位の管理と局番間でのサーバ連携が可能になります。

2. クラウドサービスの利用

モバイルコラボレーションサービス等の利用時にゲートウェイとして利用し、効率的なVoIPネットワークの構築が可能になります。

構成イメージ



製品仕様

項	項目		Si-V735D	Si-V704D	
1	インター フェース	TTC-2M	通信規格	JJ-20.11/12 TTC-2M	—
2			ポート数	1ポート（30回線）	—
3			コネクタ形状	D-sub 15ピン	—
4		OD	通信規格	—	OD(Type-V)
5			ポート数	—	4ポート
6			コネクタ形状	—	32ピンヘッダーコネクタ
7		LAN	通信規格	10BASE-T/100BASE-TX (Auto MDI/MDI-X)	
8			ポート数	1ポート	
9			コネクタ形状	RJ45	
10		シリアル	通信規格	RS-232C	
11			ポート数	1ポート	
12			コネクタ形状	D-sub 9ピン	
13	VoIP機 能	シグナリング		SIP	
14		音声コーデック		G.711μ-Law / G.729A	
15		FAX		G3 / スーパーG3(G3モードにフォールバックして中継), T.38 , 見なし音声	
16	寸法(WxDxH)		440x233x44mm (1U)※		
17	質量		2.7kg	2.8kg	
18	設定方法		コマンドラインインターフェース		
19	消費電力		9.0W以下	後報	
20	電源		AC100V±10%、平行2極接地極付プラグ		

※19インチラック搭載時ピッチ数。(19インチラック搭載用品別途手配)

接続対象機器一覧

項	種別	接続対象
1	SIPインターフェース	IP Pathfinder RM10S SSM
2		IP Pathfinder RM10S SSM2(増設期間中)
3		IP Pathfinder RM10S IPM2搭載モジュールP2
4		MobiSart
5		CL5000 カスタマイズ
6	サービス	モバイルコラボレーションサービス
7		FENICS IP電話サービス (新規販売中止) ※既存ユーザの増設時のみ
8	監視システム	SNMPマネージャー (Systemwalker Network Manager)
9	TTC 2 Mインターフェース	LEGEND-V
10		IP Pathfinder CS2/RM2(増設期間中)
11		LEGEDN-V S100
12		IP Pathfinder S
13	ODトランクインターフェース	LEGEND-V
14		IP Pathfinder CS2/RM2(増設期間中)
15		LEGEDN-V S100
16		IP Pathfinder S

価格

項	品名	型名	標準価格(税抜)	オーダー開始時期	提供時期
1	Si-V735DプレインストールモデルV13	SIV735DV13	1,250,000円	即日	2018年2月初旬
2	Si-V704DプレインストールモデルV14	SIV704DV14	230,000円	即日	2018年4月中旬



“FUJITSU IoT Solution Social Sports Learning なわとびセンシングサービス”は子ども達にとって身近ななわとびと最新のテクノロジーを活用し、楽しみながら新たなスポーツインテリジェンスを学び、運動を多様な視点から捉え、社会と関わりながら、自らの成長を促すことが可能なサービスです。

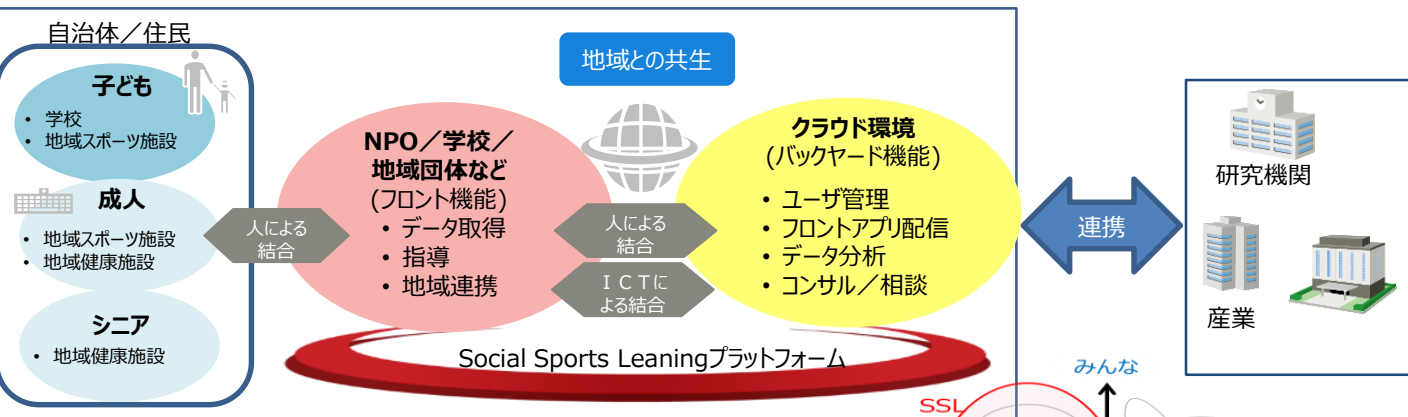
【ここがポイント】

- ① 児童に馴染みの深いなわとびを使うことで楽しく、効率的に実施
- ② 計測から振り返りまですることで変化を把握

Social Sports Learningが目指す姿

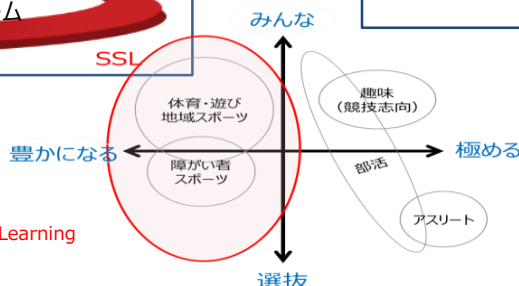
富士通は、人々がスポーツを通じて健康で豊かに暮らす社会をデジタル・テクノロジーの活用により学校や地域の人々と一緒に創生していくことを目指す Social Sports Learning*というコンセプトを提唱しています。Social Sports Learningは、人々がスポーツを通じて健康で豊かに暮らす社会を ICTを活用することで、学校やNPO等、地域の人々と一緒に作ることを目指しています。

*Social Sports Learning：スポーツ(Sports)を取り入れた社会的学習(Social Learning)の実践を意味する造語



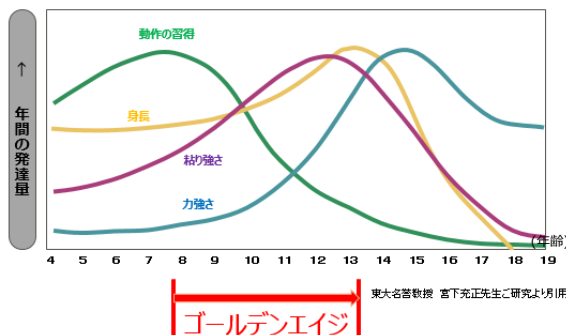
スポーツ領域とSocial Sports Learningの焦点

“みんな×豊かになる”を焦点として社会的価値創造を起点に、地域との共感によるイノベーションを目指しています。



子供の運動の運動能力育成

運動能力の発達には個人差がありますが、幼児・小学生は神経系（動作の習得）の発達期、中学生は粘り強さ（持久力）と骨の成長など身体の大きさ（身長）の発達期、高校生は筋肉（力強さ）の発達期とされ、この時期に合わせた運動が運動能力の育成にシンプルな動きに複数の動きを重ねるなどの身体の動かし方のリテラシー（知識・能力）を養成することがその後の運動能力向上につながっていきます。



【児童の運動能力育成に大切なこと】

(国立鳴門教育大学 綿引教授)

- ① 運動神経系(リズムやバランスなど)に関わる運動
- ② 発達時期に合わせた運動
- ③ 運動の多様性の理解

児童の運動能力育成に必要なことは以下の3点です。

- ① 結果(速さ、高さ、強さなど)のみに注目しないことが大切です。
- ② 神経系の発達時期である5～12歳には運動神経（リズムやバランス）を育てる運動が向いています。
- ① 動作の習得に優れた時期なので、シンプルな運動から複数の要素を学ぶことが大切です。

なわとび運動による運動能力育成のSocial Sports Learningへの適用

■ なわとび運動を活用したサービスについて

- ✓ 単にモーションセンサーの貸出／販売や測定結果の通知だけではなく、実際の測定と児童へのフィードバックを富士通専門員が授業形式で実施するので、教員の負担を増やすことなくICTを活用した新しい体育授業が実現できます。

跳躍データ

FUJITSU
クラウド環境

可視化
結果

振り返り授業での
ノウハウ提供により
行動変容

測定
センサーを専用ベルトで装着し、1分間のなわとびをする



振り返り
解析結果をもとにした運動指導



自発的取り組み
児童自身による自発的ななわとび練習への取り組み



児童に馴染みの深いなわとびを使うことで一度に多くの児童を同じ場所で測定が可能です

サービス概要

本サービスでは、児童を対象になわとび計測を行う「測定授業」と、測定結果の「振り返り授業」を実施します。

1 サービス単位(年間)につき、富士通専門員による測定授業2回、振り返り授業2回(計4回)の授業を実施します。

(授業時期・形態、測定対象者数、測定間隔は要相談)

本サービスでは、以下の流れでサービスをご提供します。

・サービス提供の流れ

準備

- 対象者、日程
実施場所等の 調整*
- *学校との調整

測定

- 測定授業*の実施
- 測定結果データを
クラウド環境へ
アップロード
- *学校による授業支援
が必要

分析

- 測定結果の分析
- フィードバックシートの
作成
- 統計資料の作成

振り返り

- 振り返り授業*の実施
- *学校による授業支援が
必要

測定授業後、振り返り授業まで概ね1週間

・測定授業

測定のための授業を一時限内で実施します。
実施場所に依りて多人数での実施ができます。
測定は富士通の専門員により、以下の手順で行います。



センサーをベルトで背中に装着し、実施します

・授業内容

- ① 児童に手順説明
- ② 児童の腰にセンサ装着
- ③ 一分間なわとびの実施
- ④ センサの回収

フィードバックシート

富士通今V29第1回前跳び4-1									
H290429-6-1-01									
総合評価: 3									
跳躍		リズム		バランス					
成功回数	失敗回数	平均跳躍回数 (成功回数÷総回数)	リズム (リズム)	横のぶれ (横のぶれ)	前後のぶれ (前後のぶれ)	跳躍成功時のみ (跳躍成功時のみ)	跳躍成功時のみ (跳躍成功時のみ)	跳躍成功時のみ (跳躍成功時のみ)	跳躍成功時のみ (跳躍成功時のみ)
107	2	0.48	0.55	1628	147				
2	4	3	3	1	5				

① 跳躍

→成功回数、失敗回数

② リズム(跳躍成功時のみ)

→平均跳躍時間
跳躍時間のばらつき

③ バランス(跳躍成功時のみ)

→横のぶれ、前後のぶれ

・振り返り授業

測定結果の振り返り授業を一時限内で実施します。
(測定後、一週間を目処)

測定授業で実施したなわとびの結果を記したフィードバックシートをもとに富士通の専門員による振り返り授業によって自身の良いところ・改善が必要なることを学びながら児童の自発的な練習取り組みを促していきます。

授業は学年にあわせた内容で行います。

・授業内容

- ① 個人別フィードバックシートの配布
- ② 個人別フィードバックシートの見方説明
- ③ 運動のコツの教える授業